



センターは2階です。
お気軽にお立ち寄りください。

同センターの設置は、市が推進する「人と人が支え合う市民協働社会」の実現に向けた取り組みの一つです。会議室や談話コーナーを備え、市民協働の活動拠点として利用できます。また、自治会長会連合会の事務所も併設し、まちづくりの要となる地域自治会との連携の充実に図ります。

同施設を平和通り内に設置する事で、中心市街地の活性化も目的としています。協働によるまちづくりに関わる様々な分野の個人・団体が集い、平和通りから那覇市のまちづくりを発信します。

那覇市協働大使 活動支援センター

那覇市の
まちづくりを発信！



中心市街地に
新スポット
続々誕生

お問い合わせ: なはまちなか振興課 ☎863-1750

国際通りを中心としたマチグワーン(中心市街地)に、新スポットができました！みなさんご存知ですか？

去る5月21日、平和通りの牧志公設市場衣料部の向かいに「那覇市協働大使活動支援センター」が開所。7月3日には、牧志公設市場衣料部の2階に「ひやみかちマチグワーン館」。そして、7月8日には、牧志駅前には「牧志・安里地区の再開発事業により「さいおんスクエア」が誕生しました。

マチグワーンにできた地域振興の拠点。市はてんぶす那覇を加えたこれらの施設を結びつけ、マチグワーン再生の起爆剤として活用し、地元客を呼び戻してマチグワーンににぎわいを取り戻す施策を展開しています。

マチグワーンの ライブスポット ひやみかちマチグワーン館



「ゆにんちゅ」のライブを中心に、毎週水曜日にオリジナルのお笑いライブ、琉球舞踊、ナハビ体験講座など各種イベントを開催！入場無料だよ！

同館は、国際通りとマチグワーンのにぎわい創出事業として、牧志公設市場衣料部2階に開設するライブスポット(小劇場)です。お笑い、歌、踊りなどのエンターテインメントの発信し、地元客や観光客でにぎわうエリアを創り出していくことを目指します。

国際通りの新しい顔 さいおんスクエア

「さいおんスクエア」が7月8日(金)、まちびらきを行いました。

この再開発事業により、国際通りに住む人にも訪れる人にも魅力的なスポットを創出し、にぎわいと人の流れが生まれます。

公民館・図書館や中南部唯一のプラネタリウムなどの施設を設置。国際通りに面した牧志駅前広場は、まちを元気にするイベント広場として活用されます。



最新のプラネタリウムを公民館に設置

文化・芸能発信の拠点 てんぶす那覇



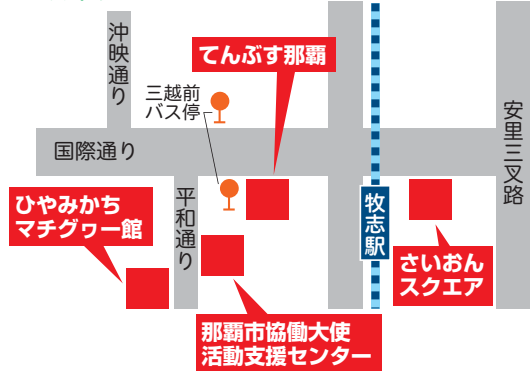
3階には市民活動の拠点施設
「那覇市NPO活動支援センター」を設置

てんぶす那覇は、那覇の文化、芸能の発信拠点として、平成16年に開館しました。

同施設内にある「那覇市ぶんかテンプス館」は、主要施設として、多目的ホール、レッスンルーム、音楽スタジオ、会議室、パソコンルーム、FMサテライトスタジオを備えています。

「那覇市伝統工芸館」は、てんぶす那覇の2階にあり、市の伝統工芸品など地場産業の振興に力を注いでいます。

施設案内図



ご存じですか? あなたが利用できる健診制度



生活習慣病やがんなど、現代人が直面する病気の早期発見に役立つのが健康診断(特定健診)やがん検診などの健(検)診制度です。

健康診断などの健診は、小・中学校までで終わりだと思っている方はいませんか？自分や夫の扶養に入っているの、職場の検診などは受けられないとあきらめている方はいませんか？

一定年齢以上の市民であれば、何らかの健(検)診制度が用意されています。この機会にあなたのために用意されている健(検)診制度を確認してみましょう！

健診は医療保険ごと！

市民のために用意されている健(検)診は大きく分けて、基本的な健診である「特定健診」と、がんなどの発見のための「がん検診」です。

図①

那覇市民

※各健(検)診対象年齢は
下記の図2を御覧ください。

加入している健康保険が…

- 国保の方
- 長寿医療の方
- 社保等の方
- 国保・長寿医療・社保等の扶養に入っている方

各健(検)診の申込みや問い合わせ先について……

- 健康診査(20歳から39歳)が受けられます。
特定健診(40歳から74歳)が受けられます。
お問い合わせ: 特定健診課 ☎862-0564**
- 長寿健康診査が受けられます。
お問い合わせ: 国保長寿医療課 ☎862-4262**
- 定期健康診断(ご本人)が受けられます。
特定健診(ご家族)が受けられます。
お問い合わせ: 各々の職場または、加入している健康保険(協会健保など)にご確認ください。**
- 各種がん検診が受けられます。
お問い合わせ: 健康推進課 ☎862-9016**

お問い合わせ 健康推進課 ☎862-9016

健(検)診のお話し ~これって本当に必要な?~

- 市民の死亡原因の第1位はがんです！**
「がん」というと何となく大げさな病気と思う人もいかもしれませんが、亡くなる方の実に4分の1の方はがんでなくなっています。(事故や老衰よりもはるかに多い！)
- がんは早期発見が重要です！**
がんの中には早期に発見することで治療が可能なものも少なくありません。定期的な検診を受けることで、がんの早期発見の可能性が高くなります。

元気なうちから上手に健(検)診を受けることで、将来の病気が減らせるんじやぞ！



特定健診やがん検診を受けるには通常、受診券が必要です。加入している医療保険や図①の連絡先に問い合わせ、受診券をもらいましょう。社保の被扶養者の方も、がん検診の受診券は市役所からもらえます。

受診には受診券が必要です

図② 市役所が実施する健(検)診の種類と年齢別一覧表

対象	健(検)診名	対象年齢など	担当課
国保の方	健康診査	20歳以上39歳まで	特定健診課
	特定健診	40歳以上74歳まで	
長寿の方	長寿健診	75歳以上	国保長寿医療課
生活保護の方	生保健診		
・国保の方 ・長寿医療の方 ・生活保護の方 ・社保等の扶養に入っている方	胃がん 大腸がん 肺がん	40歳以上	健康推進課
※社保等の本人の方は職場等にごがん検診の補助についてご確認ください。	子宮がん	20歳以上の女性	
	乳がん	30歳以上の女性	
	視触診のみ 機能的マンモグラフィ または、視触診+エコー	40歳以上の女性	
	歯周疾患検診	40,50,60,70歳	

これらの健(検)診は、基本的にあなたが加入している医療保険(国保や社保など)が提供します。加入している医療保険が対象としない場合(社保の被扶養者など)に対するがん検診などは、市が実施する検診を受けることができます。※図①②でお確かめください。

「健(検)診を受けてみたいけどよくわからない」という方は、保険証に書かれている電話番号が、図①の連絡先に聞いてみましょう！